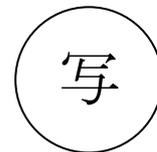


平成30年（2018年）5月25日開会

平成30年（2018年）第7回

茨木市教育委員会定例会

会 議 録



茨木市教育委員会

◆ 平成30年5月25日（金）第7回教育委員会定例会を南館6階会議室で開催した。

◆ 出席委員

教 育 長	岡 田 祐 一
教育長職務代理者	京 兼 幸 子
委 員	片 山 正 敏
委 員	篠 永 安 秀
委 員	武 内 由 紀 子

◆ 本委員会に出席した者

教育総務部長	乾 克 文
教育政策課長	玉 谷 圭 太
学 務 課 長	小 塩 憲 司
施 設 課 長	中 井 教 純
社会教育振興課長	松 本 栄 子
歴史文化財課長	乾 友 範
中央図書館長	川 上 成 人
学校教育部長	小 川 浩 一
学校教育推進課長	加 藤 拓
学校教育推進課参事	尾 崎 和 美
教 職 員 課 長	谷 周 平
教育センター所長	足 立 英 幸
こども育成部長	岡 和 人
保育幼稚園総務課長	山 寄 剛 一

◆ 署名委員

教育長職務代理者	京 兼 幸 子
----------	---------

(平成30年5月25日(金)、午後2時00分)

議事日程 (平成30年第7回茨木市教育委員会定例会)

(於:市役所南館6階会議室)

日程	議案番号	件名	摘要
1		会議時間の決定について	
2		会議録署名委員指名について	
3		会議録の承認について	
4		諸般の報告について	
5	22	平成31年度使用茨木市立義務教育諸学校教科用図書 (中学校道徳)採択に係る調査員の任命について	
6	23	茨木市図書館協議会委員の任命について	
7			
8			
9			
10			
11			

( 1 4 時 0 0 分 開 会 )

岡田教育長

ただいまから、平成 3 0 年第 7 回茨木市教育委員会定例会を開会いたします。

本日の出席者は 5 名でありまして、会議は成立しております。

なお、本委員会には部長以下、説明員の出席を求めています。

これより本日の会議を開きます。

日程第 1 「会議時間の決定について」を議題といたします。

お諮りいたします。

本日の会議時間は午後 4 時までといたしたいと思いますが、異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めまして、本委員会の会議時間は午後 4 時までと決定いたします。

日程第 2 「会議録署名委員指名について」。

本件は、茨木市教育委員会会議規則第 1 7 条の規定により、京兼委員をご指名申し上げますのでよろしくお願いいたします。

日程第 3 「会議録の承認について」を議題といたします。

「平成 3 0 年第 6 回茨木市教育委員会定例会会議録（案）」についてお諮りをいたします。

異議ございませんか。よろしいでしょうか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認め、「平成 3 0 年第 6 回茨木市教育委員会定例会会議録（案）」については承認することといたします。

日程第 4 「諸般の報告」を行います。

## 乾教育総務部長が報告

### 岡田教育長

以上の報告について、質問はございませんか。

### 武内委員

5月の3日、4日に行われた春の高校生ボランティアキャンプなんですけれども、参加者が16人で、募集は何人くらいされたのかなと思ったら20人ということで、もう少し呼びかけが足りなかったのかなという気もするんですけれども、これは、将来的にキャンプカウンセラーをやってみたいなと思っている高校生が参加しているという実態があるのでしょうか。それから、いろいろ施設整備などのボランティアを手伝ってもらったということで、参加された方はどんな感じでいろんな体験をされたのか、教えていただけたらと思います。

### 松本社会教育振興課長

春の高校生ボランティアキャンプについてです。参加者は、20名の募集に対して16名ということなんですけれども、周知につきましては、ホームページでありましたり、SNSや、いばライフというアプリでも呼びかけているところですが、昨年度の高中生ボランティアキャンプの参加者も15名というようなところで、昨年と同等の参加人数であったのかなというふうに考えております。

また、このキャンプに参加した人が、将来的に自分もキャンプカウンセラーになるような方なのかなというところなんですけれども、今回、16名参加している中で、7名の方が昨年度等にこの高校生ボランティアキャンプに参加された方になります。

それから、内容としましては、キャンプ場の整備であったり、自炊やキャンプファイヤーなど、またみんなで力を合わせて何かをつくり上げるということで、第1キャンプ場の看板づくりなどにも取り組んでもらいました。これまでは自分がキャンプを楽しむ側でありましたけども、ここでは、参加する人を楽しませる側になるような経験もしていただいておりますので、参加した高校生からは、自分もキャンプカウンセラーになりたいという思いが強くなったというようなこととか、その楽しませる側の活動も試してみて、すごくいい経験になったというような声も聞いておまして、仲間と

ともに活動する楽しさや達成感を感じることができるキャンプになったと聞いています。

以上です。

片山委員

4月19日と4月26日に、家庭教育学級指導者研修会が実施されています。この内容を拝見しますと、一人一人が本来の自分の力を発揮できる社会づくり、こういうことを理念に、コーチングとかコミュニケーションスキルを身につけさせる、そういうセンスアップの講座ということですか。家庭教育学級の運営とか子育てにも役立つ内容だということ、非常に素晴らしい講座をされているなと思います。こういうコーチングとかコミュニケーションスキルですか、これはどの組織にも通じるような内容だと思います。今、社会でいろいろ問題になっておりますが、いろんな活動をする団体、組織で指導的立場にある人は、当然、こういうスキルを身につけていただく必要があると思いますが、これを受けられた方々はどのような反応だったのか、そのあたりについて教えていただきたいなと思います。

松本社会教育振興課長

家庭教育学級指導者研修会に参加された方の反応ということでございますが、これまでコーチングというようなことは耳にしたことはあるけれども、実際に考える機会もなかったもので、いい機会になったという声をいただいております。また、講座の中でグループワークやペアワークなんかに取り組んでもらいましたので、意図をもって行動するという意識を高める必要があるなということであったり、相手に自主的な行動をしてもらうためにはどういったコミュニケーションの方法をとったらいいかというところも学んでいただきましたので、そういったことを、まずは家庭で、子どもや夫と向き合うときに活用していきたい、またひいては家庭学級の中でも生かしていきたいというような感想をいただいております。

片山委員

往々にして、親子の関係とか、あるいは指導的立場の人とそれを受ける方との関係では、強い立場の人が自分なりの価値観を押しつけてですね、いろいろ問題を起こされ

ると、こういうようなケースもあろうかと思います。コーチングとか、コミュニケーションスキルですか、こういうものをいろんな各方面で高めていっていただけるような取り組みをこれからもご期待申し上げたいと思います。

ありがとうございました。

京兼委員

それに関連してなんですが、家庭教育学級指導者ということで、まず、そういう家庭教育学級というのがあるんでしょうか。それで、その家庭教育学級を運営する指導者の研修会ということですよ。

松本社会教育振興課長

家庭教育学級ですけれども、本市では32校の小学校中、22校の小学校で家庭教育学級を開設していただいています。平成29年度の実績が22校で、本年度も5月末まで募集をしていますので、恐らく22校での開設になると認識をしておるところです。

そこで、家庭学級の代表的な立場の方、各学級2名程度を対象として指導者研修を実施したものです。

京兼委員

代表者を2名選んでいただいたということなんですけど、その選ばれた方々の年齢構成とか、それから男女比とかはどういうふうになってますでしょうか。

松本社会教育振興課長

ちょっと年齢構成までは、今把握できていないんですけれども、小学校の子どもをお持ちの保護者の方です。男女比ですけれども、ほとんどが女性の方です。

京兼委員

やはり男性が参加するというのは、なかなか大変なんですかね。むしろ男性も積極的に参加していただいて、そういう形で実施できたらと思うんですけど。家庭というのは、女性だけで成り立つわけじゃないんで。その点はいかがでしょうか。

松本社会教育振興課長

そうですね、男性の参加というようなところも含めて、家庭学級の参加者自体が、実施時間であったり、内容等によって減少をしていっているというところも課題としてありますので、実施内容や時間帯、ご指摘いただいている男性の参加も含めて、また今後、研究、検討をしていきたいというふうに考えています。

京兼委員

どうもありがとうございます。

篠永委員

僕からは、キリシタンの隠された二枚の聖母子像に関する催し物についてご質問させていただきます。宗教美術というんですか、その方面には、私はちょっと堪能ではないので教えていただきたいのですが、この現品公開された2つの作品のうち、「聖母子画像」は絵画ということよろしいでしょうか。そして、この2つとも、作成年代はわかっているのでしょうか。それから、誰がつくったのか。日本で作成されたものなのか、海外から持ち込まれて、ここで隠されていたのかというようなところについて、わかりましたら教えていただけたらと思うんですけども。

乾歴史文化財課長

今回の2点について、まず1点目の「聖母子画像」ですけど、これは絵画でして、大きさが縦が32.5cm、横が23.6cmのものになります。これにつきましては、どちらで作成されたのかというところはわかりませんが、油絵ということですので、

続きまして、もう1点の「ロレータ聖母子像」なんですけれども、こちらは、箱のようなものに入ったものでして、大きさは縦が11.8cm、横が8.4cmのものになっております。この同様の作例というのが、イタリアとかヨーロッパにも残っているということなので、諸説ありますが、ヨーロッパで作成されたものが宣教師等によって日本にもたらされたのではないかと聞いております。

以上です。

篠永委員

では、作者も作成年代もちょっとまだ不明という認識でよろしいでしょうか。

乾歴史文化財課長

このロレータ聖母子像につきましては、今現在、フィレンツェの彫刻家のヤコポ・サンソヴィーノという方、この方、1484年から1570年の方なんですけども、その方の工房の作の可能性が指摘されているところでございます。

篠永委員

ありがとうございます。

京兼委員

そのことに関連して、もう少しいろいろと調査して、例えば年代とかね、それからどこから来たのかというのを、もう少し詰めたほうがおもしろいと思うんですけど、費用的にやっぱり難しいのでしょうか。例えば、イギリスに行って調べるとか、それは難しいかな。

結局、発見場所と年度がわかっていたとしても、私たちが知りたいのは、恐らくどこから来たのかとかね、いつごろのものかというほうが、どちらかというインパクトがあると思うんですけども。やはり、経費的には難しいですか。

乾歴史文化財課長

おっしゃいますとおり、茨木にはこういったキリシタンの遺物が発見されておりました、今後おっしゃっていただいているような内容につきまして、できる限り、調査を進めてまいりたいと思います。

武内委員

このことでちょっと教えてほしいなと思っていたんですけども、関心のある方はね、よくご存じで、おもしろそうだなと思った方がきっとたくさんいらしたんだと思うんですけど、延べ1,432人の方がみえて、これをごらんになって、どんなことを学ばれたのでしょうか。

それから、私もちょっとよくわからないんですけど、どういう価値があるのかとか、そんなことについて、展示するだけじゃなくて何か説明とか、講演をするとか、そういうふうな取り組みもあったんでしょうか。開館30周年企画展ということなので、ただ展示しているだけじゃなくて、何か特別にDVDを流すとか、何かそういうふうなことも考えてされたのか、ちょっとそのあたりについて教えてください。

それから1,432人の参加者について、ごらんになった方の関心度というんですかね、どういう興味で来られたのか、市外からも来られているのかというふうなこととか、どの程度、盛り上がったのでしょうかということをお教えください。

#### 乾歴史文化財課長

今回の展示にあわせて、こういった「茨木のキリシタン遺物－信仰を捧げた人びと－」という冊子を刊行させていただきました。販売実績としまして、4月末までしか把握していませんけども、1冊500円で、152冊の販売実績がございます。それで、その中で、今回展示しておりますものにつきましての解説、それから画像等についての解説のほうも掲載させていただいております。

また、今回の参加者なんですけれども、茨木市内からおよそ14%の方、また大阪府内から35%の方、府外から36%の方に来ていただきまして、非常に幅広い地域から来ていただいているような結果になっております。来ていただいたのは個人だったり、ご家族で来ていただくという方が非常に多くございました。今回、それぞれ現品の公開をしたということで、非常にレプリカとは違った深い趣があるというような感想も頂戴しております。

#### 武内委員

はい、ありがとうございました。

#### 岡田教育長

団体で来られた方もあったんですね。120名が来られたというのを聞いたけど。

#### 乾歴史文化財課長

そうですね、海外から。

韓国のほうからなんですけども、バスで来ていただいたということもございました。

武内委員

ここね、すごく狭いところですよ。大勢が一度に来られたら、ちょっとぎゅうぎゅう詰めになってしまうんじゃないでしょうか。そのときはどんな感じで見ただけだったのでしょうか。

乾歴史文化財課長

午前と午後に分かれて60人ずつというような形で、一度には無理ですということもお伝えさせていただいて、半々で来ていただいて何とか、職員も増やした形で対応させていただきました。

岡田教育長

新名神ができましたんで、そこにバスをとめて、おりて来られたということでしたかね。

乾歴史文化財課長

バスは、近くを周遊する形で、お越しいただきました。

岡田教育長

以上をもちまして、諸般の報告を終わります。

日程第5 議案第22号「平成31年度使用茨木市立義務教育諸学校教科用図書（中学校道徳）採択に係る調査員の任命について」を議題といたします。

京兼委員

人事案件ですので、非公開でお願いしたいと思います。

岡田教育長

ただいま、京兼委員から非公開の動議が出されましたが、本件を非公開とすることに異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めまして、本件につきましては非公開といたします。

関係者以外の方の退室をお願いいたします。

<非公開>

岡田教育長

それでは、ただいまより、各委員の賛否及び意見を求めます。

(各委員「原案賛成」の発言あり)

岡田教育長

各委員のご意見は、原案に対して賛成であります。

本件は、原案のとおり決することに異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めます。

よって議案第22号は原案のとおり可決されました。

日程第6 議案第23号「茨木市図書館協議会委員の任命について」を議題といたします。

京兼委員

これも人事案件ですので、非公開でお願いしたいと思います。

岡田教育長

ただいま、京兼委員から非公開の動議が提出されましたが、本件を非公開とすることに異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めまして、本件につきましては非公開といたします。

<非公開>

岡田教育長

ただいまより、各委員の賛否及び意見を求めます。

(各委員「原案賛成」の発言あり)

岡田教育長

各委員のご意見は、原案に対して賛成であります。

本件は、原案のとおり決することに異議ございませんか。

(各委員「異議なし」の発言あり)

岡田教育長

異議なしと認めます。

よって、議案第23号は原案のとおり可決されました。

以上をもちまして、本日の議事日程は全部、終了いたしました。

平成30年第7回茨木市教育委員会定例会を閉会いたします。どうもご苦労さまでした。

(14時52分 閉会)

以上会議の顛末を記載し、茨木市教育委員会会議規則第17条によりここに署名する。

平成30年5月25日

茨 木 市 教 育 委 員 会

教 育 長 \_\_\_\_\_

署 名 委 員 \_\_\_\_\_

平成30年第7回茨木市教育委員会定例会事務報告

平成30年4月7日～平成30年5月11日

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者	担 当 課
4月12日 (木)	平成30年度市立幼・小・中学校園長会 (出席者：105人)	市役所南館10階大会 議室	教育長 京兼教育長職 務代理者 片山委員 武内委員 関係職員	学校教育 推進課
4月13日 (金)	平成30年度市立小・中学校教頭会 (出席者：65人)	市役所南館10階大会 議室	関係職員	学校教育 推進課
4月22日 (日)	キックベースボール実技講習会 (参加者：13人)	東小学校	関係職員	社会教育 振興課
4月19日 (木) 4月26日 (木)	家庭教育学級指導者研修会 (参加者：延べ68人)	男女共生センター ローズWAM 5階研修室501・502	関係職員	社会教育 振興課
5月3日(木・祝) 5月4日(金・祝)	春の高校生ボランティアキャンプ (参加者：16人)	青少年野外活動セン ター	関係職員	社会教育 振興課
5月3日(木・祝) ～ 5月5日(土・祝)	春のキャンプフェスティバル (参加者：698人)	青少年野外活動セン ター	関係職員	社会教育 振興課
5月5日(土・祝)	トムソーヤキャンプ春のつどい (参加者：76人)	青少年野外活動セン ター	関係職員	社会教育 振興課
4月7日 (土) ～ 5月5日(土・祝)	映画会 (開催回数：5回 参加者：延べ294人)	中央図書館	関係職員	中央図書 館
3月23日 (金) ～ 5月7日 (月)	茨木市立キリシタン遺物史料館開館30周年企画 展 「MARIA-隠された二枚の聖母子像」 (入館者数：延べ1,432人)	キリシタン遺物史料 館	関係職員	歴史文化 財課
4月7日 (土) ～ 5月10日 (木)	おはなし会 (開催回数：40回 参加者：延べ889人)	中央図書館ほか	関係職員	中央図書 館

その他の関連する報告事項

平成30年4月7日～平成30年5月11日

月 日	行 事 名	場 所	出 席 者
4月22日（日）	キックベースボール審判員認定試験 （参加者：15人）	東小学校	関係職員